



糖尿病性腎症連携パス

(YES - I - DO)

目的

糖尿病 3 大合併症の一つである「糖尿病性腎症」は、増え続ける血液透析患者の原因疾患でダントツの**第 1 位**です。

糖尿病性腎症を早期に多方面から適切に治療することで透析開始の時期を遅らせるだけでなく、最近では腎症を「改善させる」こともできるようになってきました。

そこで、このたび焼津市立総合病院の腎臓内科では、みなさまのかかりつけ先生への受診はそのままに、普段の診療を補うべく、当院でも定期的に腎症の状態を検査、評価、アドバイスをさせていただく「糖尿病性腎症連携パス」を開始しました。

受診日数

- 糖尿病性腎症連携パスによる焼津市立総合病院 腎臓内科への受診は基本的に半年毎で、一度に2日ないし3日を要します。
(基本的に月曜日に行なっています)

検査内容など

- 受診をすると、次の検査を行います。
血液検査、レントゲン、心電図、腹部エコー、尿検査、蓄尿検査、頸動脈エコー、動脈硬化検査
- 診察後に医師、栄養士、看護師、検査技師、薬剤師それぞれから結果の説明とアドバイスをさせていただきます。
- かかりつけ医の先生にも結果報告し、その後の診療に役立つようにします。

費用

- 糖尿病性腎症連携パスはすべて保険診療です。
- 初回（2、3日の受診）の費用は、医療費の患者負担割合が3割の方で約1万円になります。
- 万が一、将来透析になれば費用こそ一部の自己負担で済みますが、それ以上に失うものは計り知れません。未来の健康を買うのだと思って、ぜひご利用ください。

※上記金額は、多少異なる場合があるため目安となります。